

武庫川臨床教育学会 ニュースレター

2024.6.26 No.25



小さな学習会に是非ご参加ください

●第2回 7/6（土）午後2時開始「大学教育を考える座談会」 報告：中西千奈都さん、二羽礼さん

3月の大会において自由研究発表をされたお二人から今の大学の教育、教員養成の実情・課題について問題提起をしていただき、参加者と交流します。指定討論、パネル的な学習会を考えています。

●第3回 9/7（土）午後2時開始「福祉教育実践（仮題）」 報告：小西健太さん

テーマとして、「児童養護施設の現状と、入所中の子どもたちが抱える社会とのギャップ、退所後の子どもたちの社会的な孤立」について、小西さんから具体的なエピソードを語っていただき、参加者で交流する予定です。

●第4回 11/2（土）午後2時開始「保健室から紡ぐ希望」 報告：山形志保さん

3月の大会では都合で参加されなかった山形さんに今回はオンラインで問題提起してもらいます。保健室の状況や対人援助職の立ち位置について触れていただきます。

●8月31日（土） 桃山学院教育大学訪問 報告：加藤恵美子さん

大学の教員養成のありかた、困難を抱えながらも長く教員を続けるために大切なことは何かを共に考えたいと思います。10時に桃山学院教育大学正門前に集合（泉北高速鉄道 泉が丘駅から南海バスで7分）、大学施設を視察した後、懇談となります。

※「小さな学習会」は午後2時からオンラインで開催します。参加希望の方は事務局のメールアドレス

（mukogawarinkyo@yahoo.co.jp）までメールをお送りください。URLを送信いたします。（大学視察締め切りは7/31、第3回の締め切りは8/31、第2回の締め切りは6/30です。第4回は別途お知らせします。）

武庫川臨床教育学会

<http://mukogawarinkyo.com/>

〒663-8558

兵庫県西宮市池開町 6-46

武庫川女子大学教育研究所内

電話番号:075-922-7749（吉益自宅）

メール: mukogawarinkyo@yahoo.co.jp

第 10 期役員選挙が告知されました

第 10 期役員選挙が実施されます。田邊美香さん、今井美樹さんが選挙管理委員になりました。お二人に了解をいただき、今回のニュースレターに選挙投票用紙などを同封します。詳細は同封の文書をお読みください。現在の理事の任期は 2024 年 8 月末ですので、7 月末までに投票用紙の投函をお願いいたします。

シリーズ：私と臨床教育学②

臨床教育学の現場としての短大

田中 佑弥

鹿島和夫『一年一組せんせいあのね——こどものつづやきセレクション』（理論社、2023 年）が刊行されたことを知り、読んでみた。『せんせいあのね』は、私が小学生の頃に図書室で手に取った記憶はあるけれど、未読であった。大人になり、教員の視点から読むと、本書の深さが分かる。一例として「よびかけ」と題された以下のつづやきを紹介したい（紙幅の関係上、改行を一部省略）。

ぼくはがっこうがきれいなのに
おんがくかいのよびかけのとき
「がっこうはたのしいね」っていう
かかりになりました

包み隠さずに何でも話すことができる子どもとの関係性が、正答が想定されている「がっこう」において独特のユーモアを湛えている。

小学校教員・保育者養成課程の後期の授業で『せんせいあのね』を紹介し、「子どもの視点で書いてみよう」「『せんせいあのね』のように日常を書いてみよう」という課題に学生に取り組んでもらった。以下いくつかのつづやきを紹介したい。まずは「バイト」と題されたつづやきである。

「年末で辞めます。」
そう言えずに新しい年を迎えました。
『せんせいあのね』を参考に短大生の日常が巧みに切り取られている。他にも一年生は小学生とは異なった短大生らしい以下のつづやきを書いてくれた。

私の夢はまだない
みんなどうやって見つけるの～？
ため息を吐いたとき、多くの人は幸せが逃げるといふ。けれど、ため息は自分を守る必要な行為だ。だから、幸せが逃げerのではなく、幸せを呼ぶために、ため息を吐くのだと私は思う。

二年生のなかには、おそらく自分自身の学校での経験を綴ったと思われる以下のつづやきもあった。

「みんなでいっしょに」「みんなでいっしょに」呪いの言葉かな。
「はい、それでは二人組になってください」。

それは私に死ねと言っているのですね。

大学院までの長いモラトリアムを過ごした私とは異なり、短大の学生たちは二十歳過ぎで先生になる。学校での傷を抱えた学生は、四月からどんな先生になるのだろう。そんなことを考えていたら後期授業の最終週になり、短大教員の一年目がもうすぐ終わる。短大についての二年生のつづやきを紹介して本稿を閉じたい。

普段は「行きたくない」「めんどくさい」と思う。卒業が近くなると「卒業したくない」と思う。友だちとバラバラになる。「生活」「授業」「先生」「友だち」に慣れたと思えば、もう卒業。

編集後記

▶小さな研究会を多彩な角度から企画しました。オンライン開催ですので、是非とも気楽に申し込んでください。皆様の参加をお待ちしています。▶第 10 期役員選挙用紙を同封しました。お忙しいところ恐縮ですが、7 月 31 日までにご投函ください。よろしく願いいたします。<文責：吉益>

武庫川臨床教育学会 2023年度 会計 収支決算報告書
(報告期間 2023年4月1日～2024年3月31日)

収入の部

単位 円

費目		予算額	決算額	摘要
会費	年会費	260,000	226,000	3,000×58 2,000×26
	入会金	8,000	8,000	2,000×4
研究大会参加費(新設)		0	32,500	1,000×32 500×1
小計		268,000	266,500	
雑収入		5,000	8,017	利子1 寄付 8,016
繰越金		250,000	217,247	
収入合計		523,000	491,764	

支出の部

単位 円

費目		予算額	決算額	摘要
運営費	通信運搬費	110,000	108,130	サーバー更新費 35,640 ニュースレター送料
	需用費	70,000	28,290	プリントパック 理事会等 交通費
小計		180,000	136,420	
事業費	大会運営費	70,000	14,686	研究大会会場使用料など
	研究費	260,000	157,740	臨床教育学論集 第15号 130冊
小計		330,000	172,426	
予備費		13,000	0	
支出合計		523,000	308,846	

収支決算の部


収入総額	491,764円
支出総額	308,846円
差引残高	182,918円

上記の通り、ご報告いたします

2024年3月31日

会計 高橋 孝子

監査の結果、上記報告書に間違いのないことを報告します

監査 小谷正登 

監査 岩崎文志 